

# 市川総合病院放射線科

## プロフィール

### 1. 教室員と主研究テーマ

教授	池田 耕士	下歯槽神経臼後枝・切歯枝に対する磁気共鳴神経描出法の多断面観察による検討
講師	福田 一郎	前立腺術後照射における生化学的再発、遠隔転移に影響を及ぼす因子の検討
講師	小橋 優子	CT で膵臓の形態異常から早期膵癌の判定が可能かの検討
助教	野沢 陽介	膵術後出血に対する血管内治療の臨床帰結および付随する肝血流変化とその側副血行路発達に関する画像診断
助教	増田 耕一	局所進行口腔癌に対する超選択的動注放射線治療の検討
助教	和田 紘幸	前立腺寡分割照射における効果および有害事象の検討
レジデント	鈴木 大河	大腿骨折を契機に下腿の異なる2ヶ所のコンパートメントに生じた calcific myonecrosis に対する検討

### 2. 成果の概要

- 1) CT 上、膵の形態異常は 4277 例中 9 例 (0.21%) に認められ、膵くびれは 7 例 (0.16%)、局所的脂肪浸潤 2 例 (0.04%)、主膵管描出 0 例 (0%) であった。CT フォローが可能であったのは 9 例中 4 例であり、そのうちの 1 例は ERCP および EUS においても膵くびれの領域に悪性病変が否定できなかったため外科的切除を行い上皮内癌と診断された。2 例は経過観察中で、1 例は患者希望によって CT フォローが中止になった。
- 2) 当院では 4DCT 撮影により局所進行口腔癌に対する動注化学放射線療法前に治療計画を行っている。解析ソフトの中で、腫瘍に向かっていく動脈の評価を行うソフトがありこれを応用して、栄養血管の評価・血管ごとの腫瘍に対する割合等を検討した。
- 3) 前立腺癌術後照射の生化学的再発に影響を及ぼす因子は、照射前 PSA 値と術直後 PSA 値であった。早期の照射開始が重要で、術後 PSA 値 $\geq$ 0.05ng/mL の場合は、早期の術後照射の施行を検討しても良いと思われた。遠隔転移に影響を及ぼす因子は術前 PSA 値であった。照射範囲内再発はなく、術後にすでに存在する微細転移が影響すると思われた。